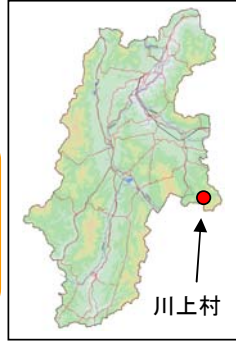


# 川上村地域公共交通活性化協議会

平成21年 3月 23日設置

## 概要

川上村は昭和57年度より村営バスを運行し、路線バスとスクールバスとの併用策や、路線バス時刻表の付いたカレンダーの村民への配布など、バス運行のための様々な努力を重ねてきた。しかし、近年全国的にもバス利用者の減少が叫ばれているが、川上村も例外ではなく減少している。そこで、今後も村民の足を確保していくべく、現在の課題を明確にし、今までの良い所は継続しながら、住民に愛され持続性のある公共交通の再構築を行うことが当プロジェクトの目標である。



川上村

### ○地域公共交通の現況

- ・JR小海線(駅:信濃川上駅)
- ・村営バス(路線数:1路線)
- ・スクールバス(村営バスと併用で運行)

### ○地域公共交通の課題

- ・現状のバスルートと人口分布は合っているが、高齢者が主利用者であることから、バス停と自宅間の移動の軽減化が課題となる。
- ・村営バスとJR小海線との接続
- ・利用者が少なくなる昼間便の検討
- ・朝夕の川上駅における高校生の自動車送迎の公共交通転換
- ・今年度より開始した最終バスの有効性の検証が必要

### ○調査の主な内容

- ・公共交通を取り巻く諸環境調査
- ・現況の公共交通実態調査
- ・住民意向調査によるニーズ調査
- ・事業者や地区へのヒアリング

### ○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・村営バスとJR小海線との接続見直し
- ・村営バスのルート・ダイヤを再検討した上で新たな交通システムも視野に入れた公共交通網の再構築
- ・新たな料金制度導入の検討
- ・公共交通利用促進策の検討

### ≪路線図とバス利用圏≫

【JR小海線との接続は確保】  
●村内唯一の鉄道駅信濃川上駅での接続は確保する

【バスルート・ダイヤまた新システムも含めた検討】  
●昼間の公共交通主利用者である高齢者の自宅・バス停間移動軽減策の検討



【村営バスの新たな料金制度導入可能性の検討】  
●定額制運賃の導入、現在の補助制度の見直しや新たな補助制度の導入などを住民ニーズを取り入れながら検討する。

### ≪利用促進策の検討≫

### ≪朝の川上駅の状況≫

この需要を村営バスに取り込めないか検討



今配布している時刻表付きカレンダーなど、利用促進策を検討・推進

